

第25期末(2022年7月25日)	
基準価額	6,889円
純資産総額	466百万円
第25期	
騰落率	11.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

# ピクテ・インデックス・ ファンド・シリーズ ブラジル株 愛称:ピクテIFブラジル株

追加型投信/海外/株式/インデックス型

第25期(決算日2022年7月25日)

作成対象期間:2022年1月26日~2022年7月25日

## 受益者のみなさまへ

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書(全体版)」を選択いただきますと運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・インデックス・ファンド・シリーズ・ブラジル株」は、このたび、第25期の決算を行いました。当ファンドは、マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み、円換算)に連動する投資成果を目指すことを目的としております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

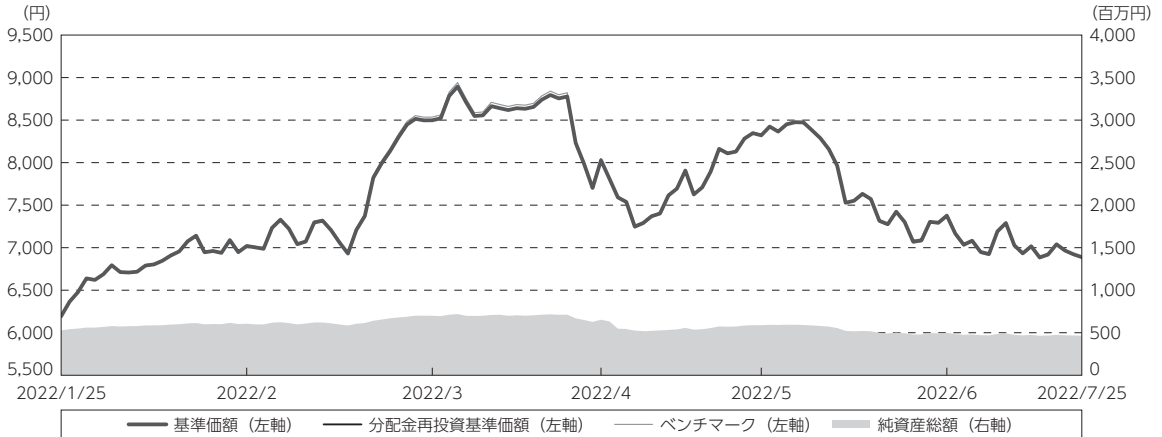
電話番号 03-3212-1805

受付時間:委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ:www.pictet.co.jp

# 運用経過

## 基準価額等の推移



期首：6,194円

期末：6,889円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：11.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年1月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み)を委託者が円換算したものです。

## 基準価額の主な変動要因

- 上昇↑・円に対してブラジルリアルが上昇したこと  
 下落↓・実質的に組入れている株式の価格が下落したこと

## 1 万口当たりの費用明細

(2022年1月26日～2022年7月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	37	0.480	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(21)	(0.278)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	(14)	(0.180)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 1 )	(0.009)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.011	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 1 )	(0.011)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	27	0.358	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(22)	(0.287)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 2 )	(0.026)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 3 )	(0.045)	・その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合 計	66	0.858	
期中の平均基準価額は、7,644円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

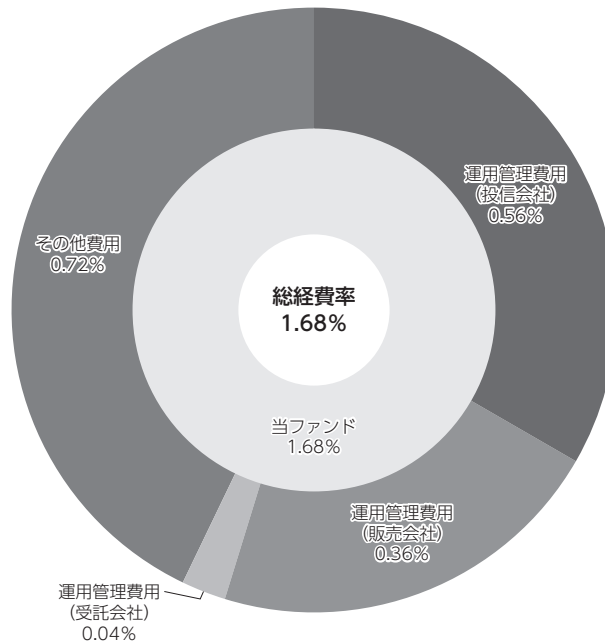
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



(注) 上記の費用は、「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移 (2017年7月25日～2022年7月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2017年7月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年7月25日 決算日	2018年7月25日 決算日	2019年7月25日 決算日	2020年7月27日 決算日	2021年7月26日 決算日	2022年7月25日 決算日
基準価額 (円)	6,479	6,532	8,177	5,748	7,280	6,889
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.8	25.2	△ 29.7	26.7	△ 5.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	2.3	26.8	△ 29.6	29.2	△ 5.3
純資産総額 (百万円)	776	599	649	541	605	466

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み)を委託者が円換算したものです。

MSCIブラジル株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 投資環境

- ・ブラジル株式市場は、原油などの商品価格の上昇を背景に期首から2022年2月にかけて堅調に推移しましたが、その後はウクライナ情勢の緊迫化を受けて投資家心理が悪化したことなどから、3月中旬にかけて下落しました。ロシアとウクライナの停戦協議への期待や原油価格などの上昇を受けて上昇する局面もありましたが、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締め姿勢を強めるとの観測に加えて、都市封鎖（ロックダウン）を背景とした中国の景気減速への懸念などが重荷となり、5月上旬にかけて再び下落しました。その後は、上海における段階的なロックダウン解除計画が示されたことなどが好感され一旦は上昇しましたが、高止まりするインフレの抑制に向けた各国中央銀行による金融引き締め政策が、世界景気の後退につながるなどの懸念が強まったことなどから、期末にかけて大幅に下落しました。期を通じてみると、ブラジル株式市場は下落しました。
- ・為替市場では原油などの商品価格の上昇、ブラジル中央銀行の利上げ継続姿勢などを背景に、期首から2022年4月中旬にかけてはブラジルレアルが円に対して上昇しました。ブラジルの主要な貿易相手国である中国の景気停滞懸念や、FRBによる積極的な利上げ観測が投資家心理を悪化させ、5月中旬にかけては円高・ブラジルレアル安となりました。その後は、原油や株式市場の堅調な推移を背景に円安・ブラジルレアル高となる局面もありましたが、FRBをはじめとする世界の中央銀行による金融引き締め加速への警戒感や、年内にブラジル国内の大統領選を控え政治的な不透明感も重荷となり、期末にかけてブラジルレアルは円に対して下落しました。期を通じてみればブラジルレアルは円に対して上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。

### <ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド>

ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、MSCI ブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行ってまいりました。

### ◇業種別組入比率

#### 【期末】

業種名	組入比率
金融	24.6%
素材	21.7%
エネルギー	17.9%
生活必需品	8.6%
公益事業	8.0%
資本財・サービス	7.0%
一般消費財・サービス	3.7%
ヘルスケア	3.3%
コミュニケーション・サービス	2.0%
情報技術	0.8%

（注）組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。  
業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

### ◇組入上位10銘柄

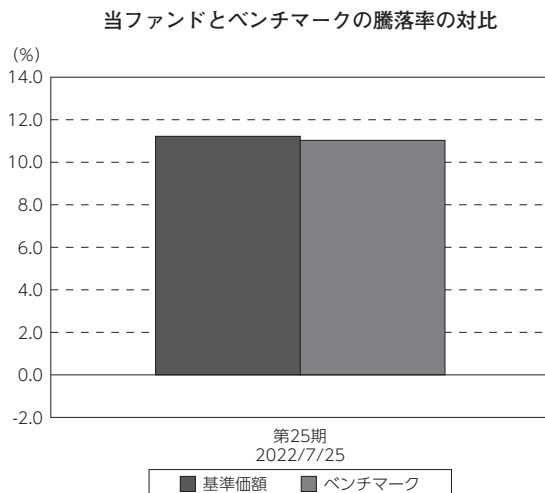
#### 【期末】

銘柄名	業種名	組入比率
ヴァーレ	金属・鉱業	16.3%
ブラジル石油公社（優先株）	石油・ガス・消耗燃料	8.2%
ブラジル石油公社	石油・ガス・消耗燃料	7.0%
イタウ・ウニバンコ・ホールディング（優先株）	銀行	6.6%
ブラデスコ銀行（優先株）	銀行	5.3%
アンベブ	飲料	4.1%
B3 SAーブラジル・ボルサ・バルカオン	資本市場	3.9%
ブラジル中央電力	電力	2.8%
ウエグ	電気設備	2.6%
ロカリザ・レンタカー	陸運・鉄道	2.3%

（注）組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。  
業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

- ・当期のベンチマークの騰落率は11.0%となり、ファンドの基準価額の騰落率との差異は0.2%でした。期を通じておおむねベンチマークに連動した推移となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数（税引後配当込み）を委託者が円換算したものです。

## 分配金

当期の収益分配は見送りとさせていただきます。  
なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

### ◆分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第25期
	2022年1月26日～ 2022年7月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,710

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針

## (1) 投資環境

ブラジル経済については、2022年1-3月期のGDPが、経済活動の再開によってサービス業が堅調だった一方、ブラジル南部での降雨量不足の影響で農畜産業が不調だったことなどから、前年同期比で市場予想（2.1%増）を下回り、1.7%増に留まりました。一方で、ブラジルの財政赤字は他の新興国に比べ高水準であることから、財政再建への課題解決に進展がみられれば、市場は好感するものと考えます。短期的には、中国における新型コロナウイルス対応のためのロックダウン再実施やウクライナ情勢の緊迫化、インフレの高進による世界の景気動向への影響などが懸念されるものの、中長期的には、世界経済の回復と成長がブラジルの企業業績および株式市場を下支えするものとみています。

## (2) 投資方針

マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCIブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行う方針です。

### <マザーファンド>

ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、MSCIブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行う方針です。



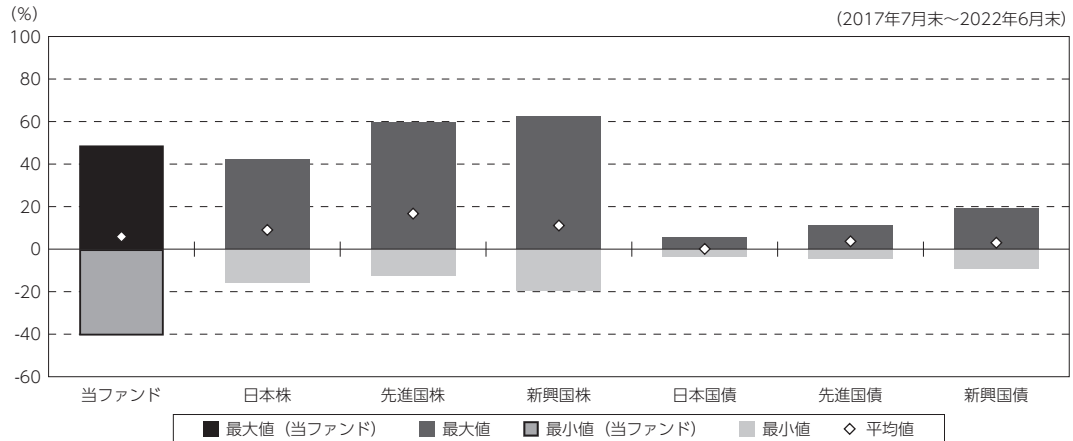
# お知らせ

委託者の商号変更に伴い所要の約款変更を行いました。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2010年5月31日（当初設定日）から2024年1月15日までです。	
運用方針	MSCI ブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）
運用方法	<p>①マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCI ブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。</p> <p>②マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）に投資します。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主な投資制限	当ファンド	<p>①株式への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の株式への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
	マザーファンド	<p>①株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、利子・配当等収益の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	48.8	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 40.7	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4
平均値	5.9	9.0	16.7	11.1	0.1	3.7	3.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年7月から2022年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### ○各資産クラスの指標

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI コクサイ 指数 (税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCI エマージング・マーケット 指数 (税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA - BPI 国債

先進国債 FTSE 世界国債指数 (除く日本、円換算)

新興国債 JP モルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

# 当該投資信託のデータ

## 当該投資信託の組入資産の内容

(2022年7月25日現在)

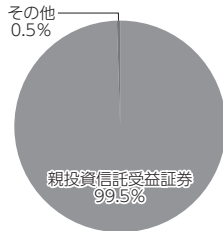
### ■組入上位ファンド

銘 柄 名	第25期末
ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド	99.5 %
組入銘柄数	1銘柄

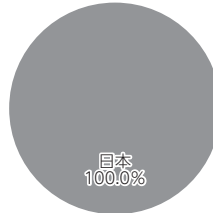
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

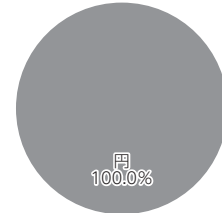
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項 目	第25期末
	2022年7月25日
純 資 産 総 額	466,001,643円
受 益 権 総 口 数	676,463,280口
1万円当たり基準価額	6,889円

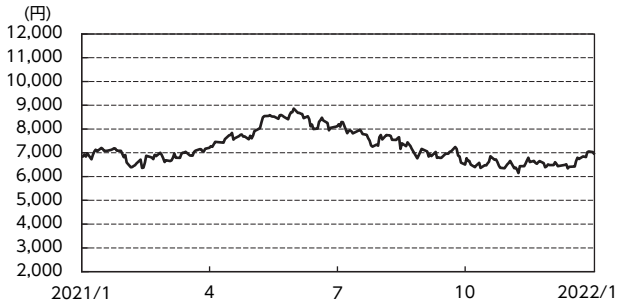
(注) 当期中における追加設定元本額は246,710,051円、同解約元本額は421,368,432円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド

(2022年1月25日現在)

#### ■基準価額の推移



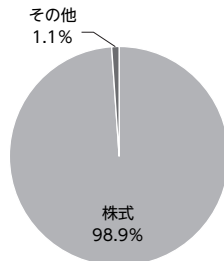
#### ■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：50銘柄)

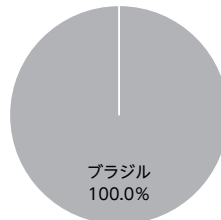
順位	銘柄	比率
1	ヴァーレ	18.7%
2	ブラジル石油公社 (優先株)	8.3%
3	ブラジル石油公社	6.9%
4	イタウ・ウニバンク・ホールディング (優先株)	6.1%
5	ブラDESCO銀行 (優先株)	5.6%
6	B3 SAーブラジル・ボルサ・バルカオン	4.4%
7	アンベブ	3.7%
8	ウエグ	2.7%
9	イタウサ	2.4%
10	スザーノ・パペル・エ・セルローズ	2.3%

- ・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

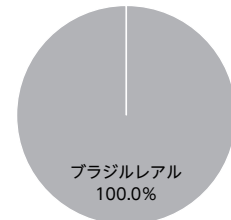
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



- ・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入株式の評価額合計に対する割合です。

#### ■1万口当たりの費用明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株 式)	1円 (1)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)
(c) その他費用 (保管費用)	41 (41)
(その他)	(0)
合計	43

- ・左記の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については2ページ (1万口当たりの費用明細の項目の概要) をご参照ください。
- (a) 売買委託手数料、(b) 有価証券取引税および(c) その他費用は、当期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
- ・円未満は四捨五入しています。

- ・基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

## 指数に関して

### ○ 「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）：

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）に帰属します。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ■ MSCI コクサイ指数（税引前配当込み）：

MSCI コクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■ MSCI エマージング・マーケット指数（税引前配当込み）：

MSCI エマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■ NOMURA – BPI 国債：

NOMURA – BPI 国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

#### ■ FTSE 世界国債指数（除く日本）：

FTSE 世界国債指数（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### ■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイド：

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。